



地方発モバイルビジネスモデル創出 に係る研究の成果報告書

みやぎモバイルビジネス研究会 作成

目次

1	事業概要	・・・	1
2	モバイルビジネスに係る情報交換や研究	・・・	2
2 - 1	勉強会の主な内容	・・・	3
2 - 2	勉強会の開催状況	・・・	4
2 - 3	アイデアワークショップ(For iPhone)セミナー	・・・	7
2 - 4	Androidスマートフォンによる モバイルARセミナー	・・・	9
2 - 5	先手必勝！スマートフォンビジネスセミナー	・・・	13
3	その他本会の目的を達成するために必要な活動	・・・	17
4	研究活動の成果	・・・	18
5	今後の課題とその原因	・・・	19
6	課題解決に向けた新たな取組	・・・	20

資料(規約, 研究会会員名簿, セミナーチラシ)



1 事業概要

目的

- 地方発モデル創出の為のノウハウ・情報の収集及び発信
- 東北発のビジネスモデルの創出

事業内容

- 異業種間による研究会を立ち上げ、ネットワークを形成し、首都圏企業との交流、情報収集によるノウハウ蓄積及び研究を多角的な視点から行うため、次の活動を実施する。
 - ・モバイルビジネスに係る情報交換や研究
 - ・その他本会の目的を達成するために必要な活動

2 モバイルビジネスに係る情報交換や研究

○ 勉強会の開催【毎週木曜日開催】

32回開催(平成22年4月～平成23年3月)

- ・首都圏で活躍する講師を招聘し, 意見交換
- ・地元企業(広告代理店等)から講師を招聘し, 意見交換
- ・他産業との意見交換
- ・会員企業同士の情報・意見交換

○ セミナーの開催

3回開催

- ・アイデア創出ワークショップ(for iphone)セミナー

平成22年6月4日(金)

- ・AndroidスマートフォンによるモバイルARセミナー

平成22年11月25日(木)

- ・先手必勝！スマートフォンビジネスセミナー

平成23年3月10日(木)

2 - 1 勉強会の主な内容

- 首都圏企業におけるモバイル市場
スマートフォン, iphoneアプリ開発の魅力とは？
- WhiteSpace特区について
デジタル放送元年「通信と放送」「IP - TV(エリアワンセグ)」新たなビジネスの可能性
- 広告媒体としての携帯
代理店や広告主の視点からのモバイルビジネスの定義
- 他産業におけるモバイル活用の可能性について
「東北みち会議」様と「道の駅」の概要や情報発信上の課題について情報交換

2 - 2 勉強会の開催状況

NO	日程	講師等	内 容	参加人数
1	4月8日	原会長	Mimosと他団体交流のための準備勉強会	10名
2	4月15日		みやぎモバイルビジネス研究会22年度総会	30名
3	4月22日	株式会社ディー・エム・ピー 佐藤様	「代理店や広告主の視点からのモバイルビジネスの定義」	15名
4	5月6日	原会長	会員紹介等, フリーディスカッション	10名
5	5月13日	Eagle 藤永様	「藤永さんが語るiphoneアプリ開発の魅力とは？」	50名
6	5月20日	原会長	Mimosと他団体交流のための準備勉強会	10名
7	5月27日	原会長	MiMoSの今年度活動の企画ミーティング	10名
8	6月4日	アイデアプラント 石井代表	「アイデア創出ワークショップ(for iphone)」開催	60名
9	6月10日	原会長	会員紹介等, フリーディスカッション	10名
10	6月24日	原会長	モバイルを使った観光事業を題材にフリーディスカッション	15名
11	7月8日	原会長	会員企業との意見交換会	10名
12	7月15日	原会長	会員企業との意見交換会	5名

勉強会の開催状況

NO	日程	講師等	内 容	参加人数
13	7月22日	原会長	SNSに関する意見交換会	10名
14	7月29日	原会長	SNSに関する意見交換会	10名
15	8月5日	宮城県企画部情報産業振興室 小熊様	通信と放送、スポットワンセグについて	20名
16	8月19日	原会長	ソーシャルメディアについて	10名
17	8月27日	ソフトバンクテレコム 山崎様	『デジタル放送元年「通信と放送」「IP-TV(エリアワンセグ)」「WhiteSpace特区」について』	45名
18	9月2日	三嶋副会長	会員企業との意見交換会	10名
19	9月9日	三嶋副会長	会員企業との意見交換会	10名
20	9月16日	アイデアプラント 石井代表	「TRUNK」で開催される「アイデア・ワークショップ inTRUNK.Vol.6」に合流参加	50名
21	10月7日	宮城県企画部情報産業振興室 小熊様	クアルコム社のARのSDKについて	20名
22	10月14日	三嶋副会長	会員企業との意見交換会	10名
23	10月21日	宮城県企画部情報産業振興室 小熊様	クアルコム社にて行われたARについてディスカッションの結果のフィードバック	15名

勉強会の開催状況

NO	日程	講師等	内 容	参加人数
24	10月28日	原会長	会員企業との意見交換会	10名
25	11月4日	maqs株式会社 伊藤 様 株式会社リーふねっと 岡 様	「魅せるサイト作りとデータで読みとるこれからのモバイル」	35名
26	11月18日	原会長	会員企業との意見交換会	10名
27	11月25日	クアルコム(株)他数社	「AndroidスマートフォンによるモバイルARセミナー」開催	80名
28	12月9日	三嶋副会長	「AndroidスマートフォンによるモバイルARセミナー」の振り返り	10名
29	1月13日	原会長	会員企業との意見交換会	10名
30	1月20日	原会長	会員企業との意見交換会	10名
31	1月27日	原会長	会員企業との意見交換会	10名
32	2月10日	東北みち議会 事務局次長 安藤様	「道の駅」の概要や情報発信の課題について情報交換	25名
33	2月17日	原会長	モバイルコンテンツサミット2011 in札幌の報告	10名
34	2月24日	原会長	会員企業との意見交換会	10名
35	3月10日	ジークラウド株式会社 CEO 渡部様 株式会社Gclue 代表取締役社長 佐々木様	「先手必勝！スマートフォンビジネスセミナー」 ～トッププレイヤーが語る展望と勝機～開催	115名

2 - 3 アイデア創出ワークショップ (FOR IPHONE) セミナー

- 開催日時：平成22年6月4日（金）
午後6時～9時
- 開催会場：エルパーク仙台
- 開催内容：ワークショップの開催
- 講師：1名
- 参加者数：60名



アイデア創出ワークショップ (FOR IPHONE)セミナー の概要

- ブレストカードゲーム「ブレスター」などで有名なアイデア創出の専門家である石井力重氏から，市場に急速に広まりつつあるiphoneのアプリ開発のためのアイデア出しに関するノウハウを，ワークショップ形式で講義いただいた。
- 既に多種多様なiphoneアプリが開発されている中で，新たなアプリを開発し成功するためには，いかにして他にないようなアイデアを取り入れるかが重要になる。

セミナーでは，個人作業にとどまらずグループで作業を共有し，活発な意見交換及び成果発表が行われた。また，様々な業種の参加者が互いに交流することにより，より「気づき」の多いセミナーとなった。

2 - 4 ANDROIDスマートフォンによる モバイルARセミナー

- 開催日時：平成22年11月25日（金）
午後1時30分～5時30分
- 開催会場：宮城県庁1階 広報室
- 開催内容：講演，ARデモンストレーション
- 講師：5名
- 参加者数：100名



ANDROIDスマートフォンによる モバイルARセミナー概要

世界的に拡大しつつあるAndroidスマートフォン及びアプリケーションとしてモバイルによる拡張現実（Augmented Reality，以下AR）に関して，市場面と技術面の両面からのセミナーを開催した。講師には，世界的な無線通信関連企業であるクアルコム（株）と地元の優秀なエンジニアを迎え，先進的な取り組みを紹介した。

第1部 ビジネスセッション

- 「モバイルブロードバンドの動向及びモバイルAR」
クアルコムジャパン(株) 事業戦略部長 前田 修作 氏
- Vision-Based モバイルAR デモンストレーション
 - ・クアルコムジャパン(株)
 - ・トライポッドワークス(株)
 - ・アイエスビー仙台開発センター
 - ・株式会社豊栄堂印刷所
 - ・宮城県産業技術総合センター

ANDROIDスマートフォンによる モバイルARセミナー概要

第2部 テクニカルセッション

- クアルコムAR-SDK
クアルコムジャパン(株) 渡辺 潤氏による,仕様及び今後の動向の説明。
- Android SDK/NDK
(株)アイエスビー仙台開発センター課長 岩佐 浩氏による,開発技法及び実践の説明。
- ARとOpenGL
宮城県産業技術総合センター技師 太田 晋一氏による,仕様の説明及び開発技法,問題点の説明。
- ARのアプリケーション事例
株式会社豊栄堂印刷所 松田 勝氏による,実際のアプリケーション開発の経緯や方法等の説明。

ANDROIDスマートフォンによる モバイルARセミナー概要

- 世界的な企業クアルコム(株)による世界最先端の情報・技術の講義は地元企業にとって刺激になり，県内技術者にとっては，開発技術として必要なSDK・NDKの実戦形式の講義を目の前で受けられ，技術習得ができる良い機会となった。
- 各種モバイルAR技術のデモンストレーションを通し，実際のARを体験することにより，AR開発の具体的なイメージとビジネスでの活用のヒントが得られた。

【課題】（アンケート結果を参考）

参加者からモバイルARセミナーに対して一定の評価，満足は得られたが，継続的な技術習得や，この技術を今後観光・ゲーム・エンターテイメント等どのような分野にどのように活用しビジネスに結び付けるか，具体的な方策が課題として残った。

2 - 5 先手必勝！ スマートフォンビジネスセミナー

- 開催日時：平成23年3月10日（木）
午後1時30分～5時15分
- 開催会場：仙台メディアテーク 7階スタジオシアター
- 開催内容：講演，パネルディスカッション
- 講師：2名
- 参加者数：115名



先手必勝！

スマートフォンビジネスセミナー概要

- 携帯電話の『スマートフォン化』が急速に進む2011年。新技術が次々と登場し、アプリ市場は海外との垣根がなくなりつつあり、企業・個人を問わず挑戦の機会が生まれた反面、ビジネスモデルやサービスのあり方をめぐり新たなノウハウの確立が急がれている。
- “ガラケー”の勝者たちもノウハウを求めて模索を続ける中、私たちは彼らに先んじてこの変化をどう捉え、どう備えるべきか。スマートフォン黎明期を切り拓くモバイル業界のトッププレイヤーを迎えスマートフォンビジネスをめぐる現状と将来をテーマに、今後の展望と勝機のあり方を議論した。

先手必勝！

スマートフォンビジネスセミナー概要

- ジーククラウド株式会社(東京) CEO 渡部薫氏により，スマートフォン及びSNSの今後の動向などを講演して頂いた。
- 株式会社GClue(会津若松) 代表取締役社長 佐々木陽氏により，世界のスマートフォン市場，スマートフォン Android, iPhoneの今後の展望を説明頂いた。
- パネルディスカッション
『スマートフォンをめぐる展望と勝機』
登壇者：渡部薫氏，佐々木陽氏，地元企業2名

先手必勝！

スマートフォンビジネスセミナー概要

- 世界の市場予測では、2007年に比べ2011年は既存ケータイが26%から16%へシェアを減らし、逆にスマートフォンは2%から14%にシェアを伸ばしており、中でもAndroidが数では圧倒している。スマートフォン市場は急速な拡大の突破口となったのはiPhoneであるが、実際のところiPhoneが売れている印象はあるものの、メーカー別シェアとしては2.7%に過ぎない。
- スマートフォン（Android・iPhone）とクラウドを活用したビジネスに今後の商機が予想される。

【課題】（アンケート結果を参考）

参加者の多く(企業，個人)が具体的なビジネスアイデアのイメージを持っている。しかし実践・開発・ビジネスにする為のパートナー（アライアンス企業，技術者）が少ないと考えているため，今後，県内でのアライアンスミーティング等が必要である。

3 その他本会の目的を達成するために必要な活動

○ webサイト運営

URL:<http://www.mimos.jp/index.html>

だてへん五箇条
一、求めよ。それ以上に差し出せ
一、引き出すことに、より心を砕け
一、対等につながり、つなげよ
一、その気づきだれかに伝えよ
一、仙台宮城にモバイル王国を築け

www.mimos.jp
MiMoS
みやぎモバイルビジネス研究会

トップページ 活動実績 会員紹介 入会ご案内 スケジュール イベント情報 お問い合わせ

みやぎモバイルビジネス研究会とは

宮城発のモバイルビジネスで成功するためのビジネスネットワーク → [詳細](#)

4 研究活動の成果

○ 地方発モデル創出の為のノウハウ・情報収集及び情報発信

だてべん(年間32回)及びセミナー(年間3回)を開催し、情報の収集及び発信を行った。セミナーではIT関連企業など開発側の企業に対し最新の動向やノウハウを情報発信したとともに、世間のスマートフォンへの関心が高まっていることもあり、ITの利用を検討している他産業の企業や団体、自治体など利用者側に対しても情報発信することにより、地方発モデル創出のための地ならしを行った。

○ 東北発のビジネスモデルの創出

東北発のビジネスモデルを創出するまでには至らなかったものの、会員企業、県内企業の中には、モバイルのシステムを活用した新規事業を立ち上げる企業や、産官学の連携によるプロジェクトを立ち上げる企業が誕生した。

5 今後の課題とその原因

課題

- 目的である東北発のビジネスモデルの創出には至らなかった。

原因

- スマートフォンの普及によりモバイルの活用に対し世間的に関心が集まってはいるものの、その具体的活用方法等について普及・啓発する機会が限られており、開発者・利用者ともにモバイルを活用するという意識が十分醸成されていない。
- 本研究会は、システム開発者が中心の会であり、モバイルサービスを利用するユーザーとの交流が少なく、利用者側のニーズを十分に把握できていない。

6 課題解決に向けた新たな取組

- ビジネスを成り立たせる土壌を育てるため，研究会の活動を通して，引き続きモバイルサービスを提供する事業者やサービスを利用するユーザーの意識を高める。
- 多様な立場の企業や個人との関わりを持ち，異業種間の交流を活性化させることで，開発者と利用者のマッチングを図り，具体的取組みに繋げる。
- 東日本大震災により新たに生まれたニーズを捉え，モバイルを活用した取組みについて検証・実施する。

【次年度以降の研究会の取組】

- ・ 首都圏モバイルコンテンツ団体，企業等，他地域の仕掛け人たちとの連帯を行い新たなビジネスに結び付ける。
- ・ 研究会の会員とモバイルを活用した事業展開を検討している事業者との商談を目的としたプレゼンイベント「アライアンスミーティング」等に取り組む。
- ・ 東北発のモバイルビジネス創出を目指し，助成金等を活用した実践的なプロジェクトを立ち上げる。